

Products

Can Get Signal® immunostain

Immunoreaction Enhancer Solution

ご好評をいただいております **Can Get Signal®** シリーズの免疫組織染色バージョンの登場です。

ウェスタンブロッティングやELISA用としてご好評をいただいております **Can Get Signal®** に、新たに免疫組織染色専用の新バージョンが加わりました。組織や細胞の染色において、より鮮明な染色像を得られるよう最適化されています。

特長 1 免疫染色のシグナルを増強

- ・ **Can Get Signal® immunostain** は、抗原と抗体との反応を促進する効果があり、従来法に比べS/N比の高い良好なシグナルを得ることができます。また、二次抗体の使用量を抑え、高いS/N比の像を得るといった使い方も可能です。抗体の使用量を全体的に抑えることが可能です。

特長 2 さまざまな抗原・抗体に対応

- ・ **Can Get Signal® immunostain** には、反応促進効果の異なるSolution AとSolution Bとがあります。ご使用の実験系に合わせ、それぞれの実験系により適した試薬を選択することができます。
- ・ 2種類の試薬がセットになったStarter Setもございます。お持ちの抗体に対して、Solution AとSolution Bのどちらが適しているのかは、こちらでご確認ください。

特長 3 高い汎用性

- ・ **Can Get Signal® immunostain** は、化学発色、化学発光、蛍光などいずれの検出系にも使用することができます。
- ・ ABC法やポリマーコンプレックス法などの増感システムとの併用も可能です。

特長 4 使いやすいReady-to-Useタイプ

- ・ **Can Get Signal® immunostain** は、希釈せずにそのままご使用いただけます。

実施例 1 従来法との比較—免疫組織染色 (ABC法)

ヒト皮膚組織モデルTESTSKIN™ (東洋紡)パラフィン包埋切片を用い、一次抗体として抗PCNA・マウスモノクローナル抗体、二次抗体にビオチン標識抗マウスIgG抗体をそれぞれ用いて、免疫組織化学染色を行いました (ABC法)。抗体の希釈には、**Can Get Signal® immunostain** (Solution Aを使用)と、1.5%ウマ正常血清を含むPBS (従来法)をそれぞれ用い、染色効率の比較を行いました。

Can Get Signal® immunostain を用いた場合は、従来法と比較して高いシグナルが得られ、バックグラウンドも低く抑えられた明瞭な染色像を得ることができました。

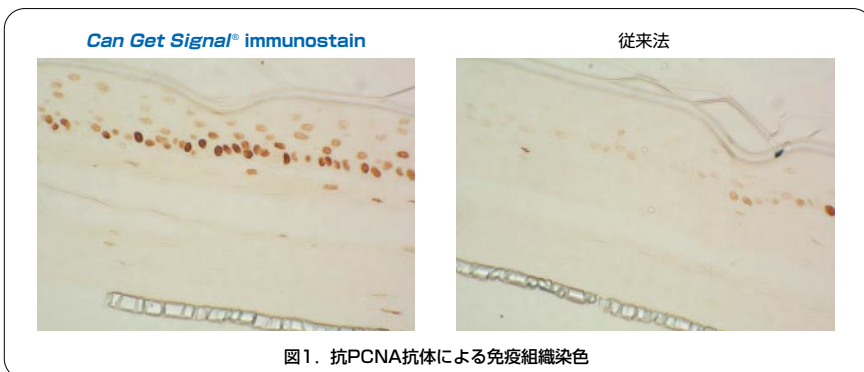


図1. 抗PCNA抗体による免疫組織染色

品名及び内容	包装	保存温度	Code No.	価格
Can Get Signal® immunostain Starter Set Solution A Solution B	各5ml×1本	4℃	NKB-401	¥12,000
Can Get Signal® immunostain Solution A	20ml×1本	4℃	NKB-501	¥30,000
	20ml×4本		NKB-502	¥70,000
Can Get Signal® immunostain Solution B	20ml×1本	4℃	NKB-601	¥30,000
	20ml×4本		NKB-602	¥70,000